

デジタルアーカイブアセスメントツール(案)

	重要度	標準モデル (小規模機関であっても行う必要のある水準)	先進モデル (各機関のミッション等の必要に応じて目指す水準)	つなぎ役モデル (つなぎ役の役割をもつ機関が目指す水準)
1 組織的基盤の取組				
①方針・計画	○	デジタルアーカイブに関する計画を立てている。又は、デジタルアーカイブに関する取組の記述が運営者の業務計画等のレベルで記載がある。	デジタルアーカイブに関する取組の記述が、運営者のビジョン又は戦略計画レベルで記載がある。	(同左)
②予算		-	デジタルコンテンツ拡充のための一時的な予算だけでなく、公開の継続やメタデータ連携に必要な予算、システムリソースやデータ移行のための予算も確保してデジタルアーカイブを運営している。	-
③人材確保		デジタルアーカイブに関する知識を持つ人材を確保している。	専任の担当部署又は担当者を組織的に配置し、デジタルアーカイブに関する知識を持つ人材を確保している。	専任の担当部署又は担当者を組織的に配置し、デジタルアーカイブに関する知識を持つ人材を確保している。
④人材育成		デジタルアーカイブに関する研修会や資格認定制度等を活用し、自館のデジタルアーカイブ担当者の教育に努めている。	自館でデジタルアーカイブに関する勉強会等を開催し、担当者以外にも知識の共有を図るよう努めている。	同じ分野・地域コミュニティのために、デジタルアーカイブに関する研修会・講習会の実施等によって、アーカイブ機関に関する人材育成を支援している。
⑤長期保存		デジタルアーカイブのデータの管理や保存のリスクを認識できるよう、データの長期利用保証に関する情報の把握に努めている。	-	デジタルアーカイブのデータ管理や保存のリスクに関する情報を提供している。
⑥外部識者		-	デジタルアーカイブの取組に関して、外部の有識者からの指導・フィードバックが受けられる体制を整えている。	(同左)
2 メタデータの整備・公開				
①整備	○	所蔵するコンテンツの一部分(主要なもの)について、電子的にメタデータを整備している。	所蔵するコンテンツの大部分について、電子的にメタデータを整備しており、定期的な新規作成・更新作業を行っている。	-
②公開状況	○	整備済みメタデータをWeb上に公開している。(データベースによる提供に限らず、表形式のデータをホームページに掲載する方法でもよい。表形式データの場合は、「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」の「(参考資料)活用できる表形式のデータとは?」に示された留意事項に対応していること。)	整備済みメタデータについて、データベース上で検索可能な形で、又は地図上にメタデータと紐付けするなどして利便性を担保した形で公開しており、かつ、定期的に更新している。(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	-
③ポータル	○	同じ分野・地域コミュニティにおけるつなぎ役又は関連する機関にメタデータを提供している。	同じ分野・地域コミュニティにおけるつなぎ役にメタデータを提供している。又はつなぎ役がない場合は、直接ジャパンサーチ(仮称)と連携している。	同じ分野・地域コミュニティにおけるメタデータを集約し、関連するポータルに提供している。または自らポータルを提供し、ジャパンサーチ(仮称)と連携している。
④標準化		独自の統一フォーマットだが「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」の必須項目(タイトル(ラベル)/作者(人物)/日付(時代)/場所)を含んでいる。(※タイトル以外は判明している場合のみ)	分野の標準的なメタデータフォーマットに対応したメタデータ整備を行っている。又は、独自のメタデータフォーマットを用意し、統一した形でメタデータを整備している。(独自の場合、標準的なものとの互換性を明示しているとなおよい。)	同じ分野・地域における標準的なモデルとなるメタデータフォーマットを作成し、維持管理するとともにその情報を公開している。または、当該分野の国際標準等の作成・更新や普及に関わっている。
⑤多言語対応		-	公開メタデータについて、日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している(名称/タイトル等、メタデータの一部の項目でも可。ローマ字対応でも可。)	-
3 デジタルコンテンツの作成・公開				
①作成・収集	○	所蔵するコンテンツのデジタル化を進めている。又はデジタルコンテンツを収集している。(一部でも可)	デジタルコンテンツの拡充の取組に加えて、所蔵するデジタルコンテンツのサムネイル/プレビューを作成している。(一部でも可)	-
②品質(コンテンツ)		デジタルコンテンツの作成の際、ノイズ・色校等进行检查している。(また、画像の場合はカラーチャートやメジャーを参照できる。)	デジタルコンテンツの作成の際、可能な限り高品質なものを作成している。(元の資料がカラーの画像の場合は、原資料(A3以下)に対して400dpi以上・フルカラーが目安。ノイズ除去、色校の検査等を実施)	-
③品質(サムネイル)		-	サムネイル/プレビューは、可能な限り高品質なもの(最大幅400pixel以上を目安)を提供している。	-
④公開状況	○	デジタルコンテンツ又はサムネイル/プレビューを公開している。(一部でも可。データベースによる公開に限らず、Web上の静的な公開でもよく、公開手段は問わない。)	デジタルコンテンツをデータベース上で検索可能な形で、又は地図上にメタデータと紐付けするなどして利便性を担保した形で公開している。(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	同じ分野・地域におけるデジタルコンテンツを検索可能な形で公開するためのポータルを提供している。
⑤公開方法		-	サムネイル/プレビューを閲覧できるページを用意しており、かつ、サムネイル/プレビューからデジタルコンテンツへリンクしている。(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	(同左)
⑥ダウンロード	○	-	高精細画像を含むデジタルコンテンツのダウンロードを可能にしている。(一部でも可)	-
4 相互運用性の確保				
①固定URL(メタデータ)	○	公開メタデータの一部分(主要なもの)について詳細表示ページを用意し、固定URLでアクセスできる(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	公開メタデータ全てについて詳細表示ページを用意し、固定URLでアクセスできる(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	(同左)
②固定URL(コンテンツ)	○	公開しているサムネイル/プレビュー又はデジタルコンテンツに、固定URLでアクセスできる。(一部でも可。つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	公開している全てのサムネイル/プレビュー又はデジタルコンテンツに、固定URLでアクセスできる。(つなぎ役等のポータルを通じて提供されている場合を含む。)	(同左)
③共通用語		-	組織内で使用する用語について、統一した辞書・典拠・シソーラスといった管理を行っている。	同じ分野・地域内の共通用語(人名・地名等)を集約し、辞書・典拠・シソーラスといった管理を行い、それを公開している。
④URI		-	メタデータ(の一部の項目)にURI(Uniform Resource Identifier)を付与して公開している。	同じ分野内の共通用語(人名・地名等)を集約し、URIを付与している。又はWikidata、Dbpedia等に識別リンクを提供している。
⑤Linked Data		-	Linked Data対応のためのメタデータセット(RDF、JSON形式など)を公開している。又はURI付と済みのメタデータセットを公開している。	Linked Data対応のために、同じ分野・地域内のデータに関し、メタデータセット(RDF、JSON形式など)を公開している。又はURI付と済みのデータセットを公開している。
⑥API		-	データの利活用促進のため、メタデータのダウンロードを可能にしている。又は、APIを提供し、その使用についての説明ページ等を掲載している。	アーカイブ連携のための仕組みとして、検索用API(Open Search、SRW等)、ハーベスト用API(OAI-PMH等)を提供している。(いずれかでも可)
⑦公開フォーマット	○	サムネイル/プレビュー又はデジタルコンテンツは、広く標準的に使われているファイルフォーマットで公開している。	-	-
⑧閲覧環境(コンテンツ)		-	デジタルコンテンツの提供において共通利用が可能な標準形式(画像の場合はIIIF等)に準拠し、環境(特定のビューワ等)に依存しない閲覧が可能である。	(同左)
5 オープン化・二次利用可能性				
①利用条件	○	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの利用に関する問合せ先をWeb上で明記している。	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツの利用に関するFAQをWeb上に掲載している。	(同左)
②メタデータ	○	メタデータの項目の一部をCC0相当のライセンスで提供している。	メタデータをCC0相当のライセンスで提供している。	同じ分野・地域のメタデータについて、CC0相当のライセンスによる提供を促進するための取組を行っている。
③サムネイル/プレビュー		サムネイル/プレビューをCCライセンスで提供している。又は二次利用条件をWeb上で明示している。	サムネイル/プレビューをCC0又はCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	同じ分野・地域のサムネイル/プレビューについて、CC0又はCC BY相当のライセンスによる提供や二次利用条件の表示を推進するための取組を行っている。
④コンテンツ		デジタルコンテンツをCCライセンスで提供している。又は二次利用条件をWeb上で明示している。	デジタルコンテンツをCC BY相当のライセンスで提供している(一部でも可)。	同じ分野・地域のデジタルコンテンツのCC0又はCC BY相当のライセンスによる提供や、二次利用条件の表示を推進するための取組を行っている。
⑤PDM		デジタルコンテンツのうち、著作権保護期間が満了しているなど著作権による制限がないデータは、パブリック・ドメイン・マーク(PDM)などを利用してその旨明示している。	-	(同左)
⑥周辺の権利	○	デジタルコンテンツについて、第三者による利活用が可能になるよう権利処理・利用許諾を行っている。(肖像権、プライバシー権等の諸権利にも留意している。)	デジタルコンテンツについて、組織統合時のデータ移行や他機関へのデータ譲渡に対応できるよう、包括的な権利処理を行っている。	デジタルコンテンツの権利処理等について、同じ分野・地域のコミュニティの相談を受ける体制を整えている。
6 利活用促進に向けた取組				
①情報発信1	○	ブログやSNS等を通じて、デジタルコンテンツに関する情報を提供している。	ブログやSNS等を通じて、デジタルコンテンツに関する情報を月1回以上更新し、提供している。	(同左)
②情報発信2		-	利活用者に向けて、自らのデータを解説した情報をWebで提供している。	(同左)
③イベント等		-	利活用者とのコミュニケーションができる場として、イベントの開催やWeb上に交流の場を提供している。	利活用者のコミュニティを形成するための取組を行っている。
④活用事例		-	-	メタデータ、サムネイル/プレビュー、デジタルコンテンツ等、提供するデータの利活用事例をWeb上で紹介している。
⑤分野内での情報共有	○	-	同じ分野・地域コミュニティ内に対し、自らのデジタルアーカイブの取組について情報を積極的に提供している。	同じ分野・地域コミュニティ内に対し、意識向上に向けて、利活用促進となる取組を行っている。(連携機関によるフォーラム開催等)
⑥付加価値		-	-	デジタルアーカイブで提供しているデータについて、更なる情報の追加や多言語化など、付加価値情報の付与に努めている(一般参加者によるタグ付け等の取組も含む)。
⑦Linked Data		-	-	Linked Dataによって、異なる機関が提供するデータとの関連付けを行い、その情報を提供している。
⑧多言語対応		-	コンテンツ利用に関する情報やヘルプ情報を日本語以外の言語(英語、中国語、韓国語等)でも提供している。	(同左)
7 持続可能性の担保				
①識別子の付与	○	長期にわたり安定的にデータを保存・管理するため、個別のコンテンツを判別し認識できる識別子(重複しない一意の管理番号)を付与している。(具体的にはガイドラインの「識別子の付与方法」参照)	-	同じ分野・地域コミュニティ内に属する組織・団体に対し、機関識別子の付与・管理を行っている。
②アクセス保証(コンテンツ)		デジタルコンテンツのURLを定期的に確認し、個別のデジタルコンテンツへのリンク切れがないようにしている。	デジタルコンテンツにDOI(デジタルオブジェクト識別子)等の永続的識別子を付与するなどして長期アクセス保証を意識して公開している。	(同左)
③データ移行性	○	メタデータも含め、サムネイル/プレビューやデジタルコンテンツの管理において、特定の機器(システム、メディア)等に依存しないデータ形式で保持している。又はデータの抽出を可能としている。	データ形式の確保に加えて、デジタルアーカイブで提供しているデータについて、組織統合時のデータ移行や他機関へのデータ譲渡に対応できるよう、包括的な権利処理を行っている。	(同左)
④データ管理	○	データの更新(修正・削除等)作業や抽出作業、利用統計の取得等を簡便に行うことができるようにしている。	データの更新(修正・削除等)作業や抽出作業、利用統計の取得等を簡便に行うことができるようにしている。	(同左)
⑤保存フォーマット		デジタルコンテンツの保存用に作成するマスターデータについて、特定製品等に依存せず、仕様書等が公開され、かつ広く普及している(国際標準等で定められた)データ形式を採用している。	-	-
⑥データ保存	○	デジタルアーカイブで提供するデータについて、バックアップによる提供データの複製、データ保存場所の分散等により万が一に備えた保存の体制を整えている。(データ共有により、複数箇所にデータが存在する状況を作り出すことも含む。)	デジタルアーカイブで提供するデータについて、(システムリソースも視野に入れた)保存計画を立てた上で、提供データに加え、保存用のマスターデータについても、バックアップや保存場所の分散等により万が一に備えた保存の体制を整えている。	(同左)
⑦システム安定性		データの管理・保存において、当該分野で一般的によく使われているシステムを導入している。又はつなぎ役等が提供する安定的なプラットフォームやクラウドを使用している。	-	同じ分野・地域コミュニティに属するアーカイブ機関自らのデータの整備・公開ができるよう、安定的な統合プラットフォームを構築・運用している。